

ユニオンスクール「L職コース」開催!! 頼もしき新リーダー集う!

大阪地方本部は、7月14日(月)、天王寺ミオイベントホールに於いて「ユニオンスクールL職コース」を開催した。



禅野執行委員長による講話

最後に、近畿労働金庫角下主任から「資産運用セミナー」として運用の必要性や考え方、新NISA制度、具体的な運用実績例を出しながらの講話の後、白井副執行委員長長の閉講の挨拶で終了した。



岡田教育部次長による講話



特別講話をいただいた福知山線列車事故ご被害者対応盛課長による講話



中島政治部長による講話



資産運用セミナーの講話をする近畿労働金庫角下主任による講話



ユニオンスクール「L職コース」受講生の皆々さん

大阪支部 第2回分会代表者会議

労組運動の基本単位である分会活動の活性化へ向けて

大阪支部は6月28日(土)、PLP会館に於いて第2回分会代表者会議を約50名規模で開催した。



大阪支部を代表し挨拶する坪本執行委員長



分会代表者会議の様子

大阪地方本部主催2025年度退職者慰労会開催 永年に亘り鉄道輸送の根幹に携われた皆様 大変おつかれさまでした。

大阪地方本部主催の「2024年度退職者慰労会」は、7月24日(木)、ホテルグランヴィア大阪に於いて、3名の退職者を招き開催した。

主催者を代表し、禅野執行委員長より、国鉄からJRへと激動の鉄道人生を送つてこられた先輩方へ、同期が久しぶりに集うなか、自らの鉄道人生を振り返るとも、に、終始笑顔の絶えない会となった。

その後、大阪地方本部退職者協議会森本会長から、JR西労組退職者協議会の活動と必要性について説明を行い、入会をお願いをした。

これまでの「苦労に感謝し、JR入社世代が、これからは先輩方に恥じぬ様にJR西労組運動を邁進させていく旨の挨拶があった。ご来賓にこくみん共済COOP、明治安田生命ならびに近畿ろうきんから退職後の各種制度について説明があった。



ろうきん天王寺支店の栗岡様による講話



大阪支部教育部によるワンポイントアドバイス

中央本部大会 川原書記長発言(要旨)

安全

福知山線列車事故を引き起こした当該の地方本部として、より高い感度で安全意識の醸成は、一定の水準を保つことが出来ています。しかし、残念ながら昨年に引き続き、大切な仲間を失う事象が止まりません。JR西日本の業務は、現場作業の多くをグループ会社や協力会社に委託して運営されており、現場最前線で危険と隣り合わせの作業に携わっています。

グループ会社とJR西日本との関係において検証アンケートでは心理的安全性は向上していますが、今一度、お客様に誓った安全を原点に立ち返り、安全お守り手帳を活用し「ABC運動」を推進し、安全性向上の取り組みを継続していきます。また、事故後入社の組合員に事故の事実や悲惨さ・反省と教訓を伝え、二度と同じ悲劇を繰り返さないためにも、事故を経験した組合員がしっかりと後輩に伝えられる環境を引き続き構築していきます。

そして、事故を語り継ぐ取り組みとして今年度で16回目を迎える地本青年女性委員会主催のユースプロジェクトでは、特別講話に初めて事故後入社で、青年女性組合員世代の方に講話をいただき、参加者からも「自分自身、自分の言葉で語り継ぐために、もっと事故について知識を深める必要がある」など、感化された方も多数おられたと報告を受けております。青年女性委員会とともに福知山の事故を知る伝える取り組みを重ねてまいります。

人事運用とキャリアステップの在り方について

人事運用については、組合からこうあるべきだとは言えませんが、近年多くの組合員から納得感の得られない人事運用について相談を受けています。一昔前なら、辞令が発令されたら、堅忍不拔の精神で異動を受け入れ、新天地に向かう方が大半でしたが、多様性や感受性の高い世代が増え、またコロナ禍以降、ミスマッチや転職しやすい環境により離職が増えていて、特に技術系統においては、要員を確保できない状況にもなっています。

離職に歯止めをかけるためにも、JR西労組が策定した「人材の確保および定着と成長に向けた提言」の(7)働き方改革の推進の短期的提言にある、異動に伴う目的や期待することの明言化や異動後の箇所長とのフォロー体制の構築はもちろんのこと、加えるならば、2、3年後にはこのポジションを目指して欲しいというような、マイルストーンをやはり示してあげるべきではないでしょうか？

愛社精神や帰属意識の醸成に向けて「社員を大切に」する」人的資本経営の観点からも、会社幹部や管理職の方にはマネジメントに苦慮されておるのは承知しておりますがお願いしたい。

共済の加入促進等について

分会・支部では、JR西労組運動を献身的に取り組んで頂き、組織率は96%間近に迫ってきました。今年度は地本・支部執行部もフォローに入りながら加入行動を行い、新規採用者132名の全員加入、また社会人採用者についても所属分会役員が中心となり、JR西労組の仲間として活躍されています。

一方、第一小委員会でも発言があったように、組合加入行動については、新しい環境化で心的疲労や研修中の疲れの中、いきなり色々説明をされ、いい印象を受けていないという声を聞いています。家族支援共済も新規採用や社会人採用の加入がなかなか進まない中、スケールメリットを活かせないようなパーセンテージまで

急激に下がっていくと想定されています。

今回は、ほぼ通年の募集期間を可能にして頂きました。明治安田生命も新採や社会人採用者に直接説明する機会を作って欲しいと要望をうけているならば、ユニオンスクール新規採用者コースや社会人採用者コースなど、各地本間でスケジュール感を調整し、家族支援共済の加入取り組みを必須項目にしてもいいのではないのでしょうか？

分会からは人間関係がしっかり出来てから説明するほうが、耳を傾けてくれる方も多く聞いています。加えて救援共済やJR連合私傷病共済なども組織化する際に、レ点をつければ加入できる仕組みを検討してもいいのではないのでしょうか？

昨今のこの体温を超えるような暑さのなか、熱中症とまではいかなくとも、体調不良により勤務解放となる組合員が増えてきています。残念ながら、業務のミスマッチ等により精神的に休職される方も年々増えてきています。特に、救援共済や私傷病共済は、どこかの保険会社でも真似しようと思ってもできないような、まさに組合員に寄り添った共済です。

そして分会の役員が、給付対象者に給付申請や対話をする事で、信頼関係を築き組織の求心力も高まると考えます。

先ずはこういった給付率の高い独自の共済にしっかりと加入していただく事で、組合の共済ってありがたいという意識が広がって、家族支援共済等の加入率も上がっていくのではないかと思います。今のやり方を否定するわけではないですが、現状のままでは、確実に加入率は下がっていく一方です。ご検討をお願いします。

万博一時金の要求について

4月13日に大阪・関西万博が開幕し、3ヶ月が経過しました。184日間にわたって開催される万博ですが、すでに来場者数が1000万人を突破し、会期後半に向けて来場者数が伸びていくと見込まれています。万博輸送を支える交通事業者としての責務を果たすために、期間中の安全安定輸送完遂するために、期間中の安全安定輸送完遂するためにおきな輸送障害は発生していません。

駅では多くのお客様の案内誘導・乗務員は快適な運行・車両施設電気系統は前倒しで点検作業やメンテナンスを行い、間接部門においては、各駅のホーム巡回やラッシュ添などを行い、総出で取り組んでいます。

また大阪DC・万博プラスワントリップ等の施策を通じて万博効果の広域波及に繋げる取り組みとして、関西圏エリアだけでなく、北陸や中国エリア九州方面、JR西日本全体で多くの観光されるお客様をお運びしています。

現時点では、万博効果だけで200億の増益を見込んでいるとありますし、まもなく第1Qの決算が公表されると思いますが、GWのご利用状況などを鑑みると、相当いい数字が発表されるのではないかと推測されます。

これらの数字を作りあげているのは社員であり組合員の皆さんです。また西日本連合に加盟する各単組も、会場内でのオフィシャルストア出店や、オンラインストアでのグッズ販売・ホテル・ショッピングセンター等でも万博需要を最大限取り込んでいます。無事に万博輸送が完遂すれば、それ相当の一時金の要求を要請します。

コロナ禍で減額された1.19ヶ月をどう考えているのか?という質問も、いまだ声として上がります。グループにも波及効果をもたらし、魅力あるJR西日本グループを創りあげるために地本としても下支えいたします。



大阪地方本部を代表して挨拶をする禅野執行委員長

同期が久しぶりに集うなか、自らの鉄道人生を振り返るとも、に、終始笑顔の絶えない会となった。

お詫びと訂正

7月1日発行の第442号に於いて「2025年度中央本部大会代議員」の役職名に誤りがありましたのでここに訂正させていただきます。

(誤)西田 早織
支部副執行委員
↓
(正)西田 早織
支部執行委員

関係の皆様にはご迷惑をお掛けいたしました。
大阪地方本部 情宣部